

Fukushima

# 茂庭旬景Ⅱ

-彩-

color of MONIWA

# 茂庭の歳時記

春



白兎峠

4月 桜(見頃:下旬~5月上旬)

5月 蓮華滝不動尊御祭礼(3日)

夏



白鳥神社御祭礼

秋



滝野

11月 紅葉(茂庭つ湖周辺  
見頃:上旬~中旬)

2月 寒晒しそば

10月 茂庭そばまつり(中旬~下旬)

摺上川ダム森づくり大作戦  
(中旬~下旬)

紅葉(鳩峰峠周辺

見頃:下旬)

冬



茂庭広瀬公園

茂庭地区では、景観住民協定を結び景観の保全に取り組んでいます。

## 摺上川ダム周辺地域づくり協議会

〒960-0271 福島市飯坂町茂庭字宮沢口9-1 (事務局:福島市茂庭出張所)

問い合わせ:TEL (024)596-1001

photo : katsuyama

表 紙 : 茂庭つ湖 (梨平)

## 飯坂 MAP



## 茂庭施設案内図



## 茂庭の史跡

- ① 軽井沢不動尊
- ② 白滝不動尊
- ③ 八坂神社
- ④ 御嶽神社(田畠)
- ⑤ 蓮華滝不動尊
- ⑥ 蓮華滝
- ⑦ 滑滝
- ⑧ 茂庭家墓所
- ⑨ 熊野神社
- ⑩ 田村御前の墓
- ⑪ 犀沙門天王
- ⑫ 天香森



白鳥神社



熊野神社

- ⑬ 菖沼跡
- ⑭ 白岩
- ⑮ 西滝不動尊
- ⑯ 西滝
- ⑰ 白鳥神社
- ⑱ 白鳥神社の大杉
- ⑲ 広瀬觀世音
- ⑳ 脇流し地蔵(愛宕神社)
- ㉑ 梨平神社
- ㉒ 御嶽神社(名号)
- ㉓ 行人滝
- ㉔ 亀岩



## 茂庭 MAP



## 伝説の里 茂庭

茂庭には「大蛇退治」の伝説と、それにまつわる地名や史跡が今に伝わっています。

菅沼に棲みついた大蛇は、近隣の村々から人身御供を捧げなければ大水害を引き起こすとして、非常に恐れられていました。

建久3年(1192年)、生け贋にされる娘を救うため関東からやって来た斎藤実良公は、神の御加護によって授かった矢で大蛇を退治したといわれています。

村を救った実良公は人々に懇願されてとどまり、名を改め以降

十三代にわたってこの地を治める茂庭公の初代になったということです。

大蛇の体は三つに切り離し、首を川下の田端(田畠)に、尾を中ほどの梨平に、胴を川上の名号に埋葬し、それぞれの場所に、田端の御嶽神社、梨平神社、名号の御嶽神社を建立しました。

尾を間に挟んだのは、生き返って再び害を及ぼさないように祈念したためといわれています。





茂庭広瀬公園



霧華そば



## 茂庭旬景ホームページ

ホームページでは、パンフレット以外にも茂庭の四季折々の風景を紹介しています。

「茂庭旬景」のキーワードで検索をしてください。

茂庭旬景



# 茂庭旬景 -彩-



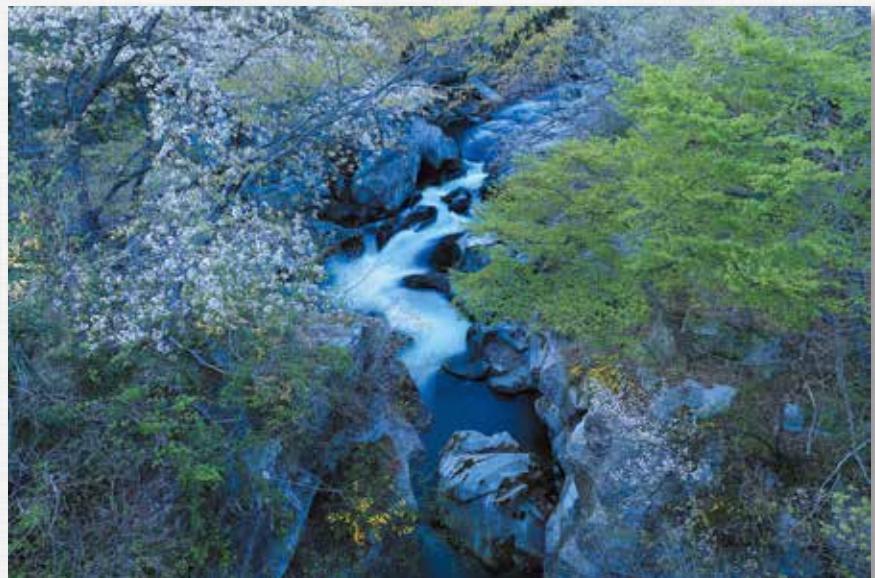
早春  
黒沢



山吹  
摺上峡(滝野)



山 桜  
田 畑



春の溪  
白兎峡(滝野)



清流  
白兎峡(滝野)



春陽  
高山沢(広瀬)



立夏  
名号



雨露  
茂庭つ湖(叶道沢)



こもれび  
蓮華滝(三日尻)



五月田  
中茂庭



菖蒲  
広瀬觀世音



夕映え  
茂庭つ湖(名号)



翠鏡  
茂庭つ湖(名号)



霧華  
小芦山(滝野)



水花火  
行人滝(中津川)



清 秋  
摺上峡(滝野)



錦秋  
行人滝(中津川)



晚秋  
摺上峡(滝野)



初雪  
黒沢



風雪  
茂庭つ湖(名号)



冬晴れ  
茂庭つ湖(桂山)



氷結  
茂庭つ湖(名号)



吹雪  
茂庭広瀬公園



曙光  
茂庭つ湖(名号)

# 古関 裕而 氏

## ♪プロフィール

古関裕而(本名:勇治)氏は、明治42年8月11日に福島市大町で生まれ、昭和5年に日本コロムビア株式会社に専属作曲家として入社、以来、作曲活動を継続し、戦前においては「暁に祈る」「露營の歌」などの歴史的作品を残したほか、戦後の荒廃した社会の中にあっては「雨のオランダ坂」「フランチエスカの鐘」「長崎の鐘」「とんがり帽子」など未来へ希望を抱かせる明るい歌謡作品を発表し、多くの人々に愛唱されました。

さらに、昭和22年以降は放送作品に力をそそぎ、菊田一夫氏とコンビでNHKラジオドラマ「鐘の鳴る丘」「さくらんぼ大将」「君の名は」などの主題歌を発表し一世を風靡したことはあまりにも有名です。



また、昭和23年には全国高等学校野球大会の歌「栄冠は君に輝く」を、昭和39年の東京オリンピックでは「オリンピック・マーチ」を作曲しました。

福島市に関する主な作品としては、「福島夜曲」「ふくしま小唄」「わらじ音頭」をはじめ、小中学校の校歌等もあり、子供から大人まで幅広い世代に愛唱されています。

このほか、映画・演劇・スポーツなど、幅の広い作曲活動をしており、作曲作品総数は5,000曲にもおよぶといわれています。

こうした一連の功績によって昭和44年には紫綬褒章を、昭和54年には勲三等瑞宝章を受章しました。

また、昭和54年4月には、福島市名誉市民第一号となり、その功績と栄誉をたたえられています。

令和2年には、古関裕而・金子夫妻をモデルとした連続テレビ小説「エール」が放送されました。

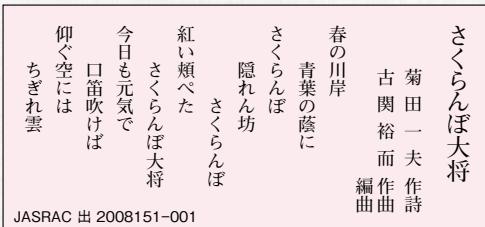


古関裕而  
♪のまち  
福島市

# 古関裕而と茂庭

昭和26年(1951年)1月から昭和27年3月まで放送されたNHKラジオ・ドラマ「さくらんぼ大将」は、福島市の茂庭が物語の舞台となっています。

前作の「とんがり帽子」に続き、脚本を菊田一夫氏、音楽を古関裕而氏が担当し、主題歌の「さくらんぼ大将」は多くの人に愛唱されました。



子供向けの番組として、社会問題抜きの明るいユーモアのある純情物語で、主人公の少年「六郎太」が、茂庭から飯坂へ、そして全国を旅し、次第に成長していく姿が描かれ、当時の子供たちに夢を与えた。

## 古関氏と茂庭のゆかり

番組の構想段階で、菊田氏へ舞台候補地に茂庭を推薦したのは、他ならぬ古関氏



摺上川ダム

## さくらんぼ大将



茂庭つ湖の畔には、物語の主人公「六郎太少年像」が建っています。  
(摺上川ダムインフォメーションセンター前)

でした。古関氏は、戦時中飯坂町に疎開していた頃、摺上川沿いによく足を運んだ茂庭のことを思い浮かべ、菊田氏へその思い出を話しました。そして、昭和25年(1950年)12月に現地取材に茂庭を訪れ、また、放送期間中の昭和26年6月には、古関氏とスタッフ・出演者が舞台となった茂庭小学校名号季節分校を訪れ、茂庭の人々も大いに歓迎をしました。

物語の舞台となった一部は、現在、福島市の水源である「摺上川ダム」、「茂庭つ湖」となっています。



# 摺上川ダム



堤高105m、堤体長718.6m、総貯水容量1億5,300万m<sup>3</sup>の中央コア型ロックフィルダム、洪水を調整することで下流河川の洪水被害を軽減することや、福島市をはじめとする3市3町への水道用水・かんがい用水の供給、発電などを目的とした多目的ダムです。

ダム湖は、「茂庭つ湖」の愛称で呼ばれています。

## 摺上川ダムインフォメーションセンター

摺上川ダムの仕組みや役割をビデオやパネルでわかりやすく紹介する情報スペース。茂庭つ湖の雄大な景色をゆっくりとご覧ください。

開館時間

午前9時～

午後4時30分

入場無料

休館日：年末年始（12/29～1/3）

## 摺上川ダム管理所

〒960-0271

福島市飯坂町茂庭  
字蟬狩野山25

問い合わせ:TEL

(024)596-1275



## 湖面利用

カヌーなどで湖面を利用する際は、摺上川ダム管理所へ届け出てください。  
利用期間 4/1～11/30



## 交通のご案内

お車で 東北自動車道福島飯坂I.C.から約16km（約30分）



バスで 福島交通飯坂温泉駅から「中茂庭・もにわの湯」行きバスに乗車、ダムへは「北野原」、もにわの湯・ふるさと館へは終点「もにわの湯」下車



## もにわの湯

~美人の湯でゆっくりと ゆったりと~

いにしえの旅人の「笠」をイメージした屋根の下に、自然石を使用した露天風呂もあり茂庭の美しい自然との一体感を味わえます。

泉質は、アルカリ性単純温泉で疲労回復、健康増進に効果があり、すべすべとした肌触りが魅力の「美人の湯」です。

茂庭の美しい自然を満喫し、ゆっくりと「もにわの湯」に浸かって疲れた体を癒してください。



営業時間 午前9時～午後9時  
年中無休(点検のため臨時休業あり)

料金:大人250円、子ども120円

問い合わせ:TEL (024)596-1811



## 茂庭ふるさと館

~豊かな自然の恵みとおいしいそば~



### もにわそば処 霧華亭

地元で育てたそば粉の十割手打ちそばが自慢です。

営業時間 午前11時～午後2時  
定休日 木曜日

### 農産物直売所 来夢來人

茂庭の農家が愛情こめて作った旬の新鮮な野菜、果物、茂庭の山の幸がいっぱいです。

営業時間 午前9時～午後5時  
定休日 木曜日



茂庭広瀬公園キャンプ場、  
バーベキュー広場、  
多目的運動場のご利用は、

## 茂庭生活歴史館

問い合わせ:TEL (024)571-7702

NPO法人  
**茂庭つ湖の郷**

〒960-0271  
福島市飯坂町茂庭字清水川原21-2

問い合わせ:TEL (024)571-7701

直接、お問い合わせください。

# 摺上川ダム周辺地域づくり協議会

(発行／2020年11月)